12月29日開催“「蒼穹のファフナー EXODUS」皆城総士生誕祭”イベントレポート | 会場：パシフィコ横浜 |

2016年12月29日、神奈川・パシフィコ横浜にてアニメ「蒼穹のファフナー」シリーズのイベント、「皆城総士生誕祭」が開催された。

メインキャラクターである皆城総士の誕生日を祝った今回のイベントでは、喜安浩平（皆城総士役）、石井真（真壁一騎役）、松本まりか（遠見真矢役）、佐々木望（堂馬広登役）、白石稔（近藤剣司役）、石川由依（水鏡美三香役）のメインキャスト陣に加え、「ファフナー」シリーズの主題歌を手がけるアーティストangelaも登壇するなど、豪華な顔ぶれとなった。

――今回の「皆城総士生誕祭」は、「喜安浩平卒業式」？

今回MCを務めた石井真、松本まりかの呼び込みで出演者全員が登場、出演者が各々用意された椅子に座る中、本日の主役喜安浩平には、豪華な椅子がスタック3人ぶんがりでステージに用意された。他の出演者よりも一段強めのスポットライトが当てられた喜安浩平。着席後、これまでの皆城総士の年表を映像と共に振り返りながら、キャスト陣が当時の思い出話に花を咲かせた。2015年12月に放送が終了した「蒼穹のファフナー EXODUS」。年表を振り返る中で、総士は地平線の向こうにいき子供として転生してしまったため、今後はキャストが変更されるのではないかという憶測から、「喜安浩平卒業」の雰囲気を出演者の言動の節々から感じることに。その雰囲気のまま、これまでの「蒼穹のファフナー」イベントでの喜安浩平の活躍の映像がスクリーンに映し出され、会場では涙する観客も。登み掛けるように当日会場に来られなかった、田中正彦（真壁史彦役）、新井里美（要咲良役）、仲西隆（皆城総士幼年役）、岡本信彦（ジョナサン・ミツヒロ・バートランド役）、島崎信長（御門晋央役）からのビデオメッセージでは、各々が喜安浩平の卒業をねぎらう言葉が。さらに続けて、登壇している出演者から、喜安浩平への別れを惜しむ手紙が読まれるという感動的なセレモニーが始まり、そのメッセージを受けて喜安浩平のスピーチが始まると、いよいよ本格的に泣き出してしまう観客も出始めた。

完全にしんみりムードな会場。そんな雰囲気の中、前回の同化イベントから「超重大発表」があると告知されていた内容がついに明かされることになる。まず一つ目は、シリーズ最新作となる「蒼穹のファフナー THE BEYOND」の制作決定。初公開となったティザービジュアルには、前作「EXODUS」のラストで子どもの姿になった総士の、成長後の姿のようなキャラクターが描かれていた。ティザービジュアルをみて様々な推測をする出演者陣、そこでもう一つの重大発表があるとのことで、スクリーンには「蒼穹のファフナー」シリーズ総監督・能戸隆氏からのメッセージビデオが流れ始めた。

能戸「新作、『蒼穹のファフナー THE BEYOND』が発表されました。実はもう一つ、重大な発表があります。それは…新作の皆城総士役は、キャシー（喜安浩平）に決定しました。」

この発表を受け、「喜安浩平卒業」という雰囲気に飲み込まれていた会場全体から、歓喜、感涙、そして爆笑の拍手と歓声が巻き起こった。そう、この発表までの一連の流れは、壮大なサプライズ!?だったのだ。

その後は生誕祭イベントで毎度恒例となっている石井真によるラップの披露や、誕生日ケーキの登場など、いつもの和やか（ダダグダ）ムードに。会場の熱気でケーキが溶けて原型を失ってしまうというまさかのハプニングがあるなど、何から何までファフナーイベントらしいダダグダなこの日常感に、散分前に涙していたファンも笑顔を取り戻したことだろう。

そして楽しいステージも終わりの時間が近づき、本日のイベントの振り返りや、次回作への意気込みなどを思い思いに述べ、幕が閉じられた。しかし、ここで客席からは「アンコール」が。照明がつき、現れたのはangela。そう、二人が歌わずに終わるわけがないだろう。ライブコーナーの始まりである。

angelaによる「Peace of mind」は客席のファンとの大合唱に包まれ、続けて歴代「ファフナー」の主題歌メドレーにファンは総立ちで飛び跳ね、盛り上がった。続いて皆々木望の「全力LOVE」で披露されたポップなダンスに会場もウキウキモードに。その後の石井真は力強く「Flugel」を歌い上げ、それぞれが持ち曲を熱唱した。そして最後は、及川より石井真含むファン全員が切望していた真壁一騎と皆城総士のデュエットソング「太陽と月」を出演者全員と客席が一つとなって歌い、ライブコーナーは大盛況に終わった。

「蒼穹のファフナーはまだまだ終わりませんにおわかも宜しくお願いします!!」という石井真からの力強い言葉で出演者一同は退場した。その後、イベント最後のサプライズが待っていた。「蒼穹のファフナー THE BEYOND」のティザーPVが公開となったのだ。お馴染のキャラクター達の成長した姿が登場する度に大きな歓声が上がり、来場客は続報に大きな期待を寄せ、帰途についたに違いない。

「TV第1シリーズ」

フェストゥムと竜宮島、そして、新国連との三つ巴の戦いを、島に住む人々の人間模様を交えながら描く、SF群像劇。

2146年、東京から遠く離れた島・竜宮島に、敵が襲来。島に住む中学生・真壁一騎（CV.石井真）は敵の正体も知らされぬまま、人型兵器・ファフナーに乗せられ、戦いに巻き込まれる。彼を支えるのは、かつての友・皆城総士（CV.喜安浩平）。2人はシステムによって感情と痛みを共有し、敵に立ち向かうが……。

フェストゥムとは何なのか、島はなぜ造られ、何から造げているのか、その謎が明らかになったとき、物語は予想もしなかった展開を迎える。

「RIGHT OF LEFT」

島にフェストゥムが現れる約1年前。一部の職員によって極秘に実行に移された作戦・1計画。その作戦の経緯を通して、島々守るために戦い、散っていった人々の葛藤と生き様を記録する、TVスペシャル。

主人公は、一騎たちの1年先輩である羽佐間翼（CV.宮野真守）。島の使命を知る彼は、中学卒業後、1計画への参加を決めていた。女友だちである生駒祐未（CV.甲斐田裕子）は、ある日、封印されていた記憶が甦り……？

子供の命を強性にしながら運用される、ファフナー」という兵器に対する疑問も投げかけられる。

「HEAVEN AND EARTH」

「RIGHT OF LEFT」から5年の時を経て制作された、劇場公開作品。一騎と総士の絆と、総士生存の可能性、そして、竜宮島初の自然交配で誕生した少女・日野美羽（CV.諸星すみれ）の未知の能力を探る。

第一次蒼穹作戦から2年。再び世界から姿を消した竜宮島は、東の陽の平和を取り戻していた。だが、突然の夜、シールドを解除した湾内に、人類軍の潜水艦が侵入。艦内には「人の少年・来主操（CV.木村良平）が眠っていた。事態を把握した一騎は、総士が送ってきたメッセージに従い、再びファフナーに乗る。

「EXODUS」

新たに到来する純粋ミールをめぐり、エスペラント、新国連、フェストゥムが幾度なく争いを繰り広げる、TVシリーズ第2弾。故郷を追われた竜民たちの過酷な行を通して、戦いがもたらす種々な矛盾にも言及する。

2151年、エスペラントと名乗る人類軍兵士が竜宮島を訪れる。彼らはミールの引き渡しを要求。新世代の人間だった、人類軍将軍・ナレインは、純粋ミールとの接触のため、日野美羽の力を貸してほしいと要請。島は美羽を含む数名の派遣部隊を、彼らのミールが根付いたという地へ派遣する。

© XEBEC・竜宮島役場
© XEBEC・PLAN L
© XEBEC・FAFNER PROJECT
© XEBEC・FAFNER EXODUS PROJECT

© XEBEC・FAFNER BEYOND PROJECT

新作「蒼穹のファフナー THE BEYOND」制作決定!!

キャストインタビュー

《石井 真》（真壁一騎役）

ついに「新作『蒼穹のファフナー THE BEYOND』の制作が決定しましたが、今のお気持ちを聞かせて下さい。

また、大きく物語が動き出す様ですね。
どんな状況に投入されても応えられる様にいられたらと思います。

次山のシリーズがある「蒼穹のファフナー」ですが、初めて観る方へ何かアドバイスをいただけますでしょうか。

ゆっくり観てください。

自身にとって「ファフナー」とはどのような存在でしょうか。

ずっと挑戦して行かなきゃいけないもの、です！

最後に、作品を楽しみにしているファンの方へのメッセージをお願いします！

小さな陽だまりですら愛おしく感じられる作品です。
そんな人間ドラマをまた皆さんへ届けられる様に精進致します。

《喜安浩平》（皆城総士役）

ついに「新作『蒼穹のファフナー THE BEYOND』の制作が決定しましたが、今のお気持ちを聞かせて下さい。

台本をいただくまで、本当に制作されるのか、私のキャラクターがどういったものなのか、どのキャラクターがいて、どのキャラクターがいないのか、誰かがまた誰かったり軟弱されたりしないのか、なにもわからないので、心静かに待っていようと思います。

次山のシリーズがある「蒼穹のファフナー」ですが、初めて観る方へ何かアドバイスをいただけますでしょうか。

最初のシリーズは、まず最初の6話までを付き合ってください。そこまで付き合ってくれたら、次回、次次回と気になって、気がつけば最終回になっています。次に「RIGHT OF LEFT」を観てください。もう、他のシリーズも全部見たいと思っていることでしょう。全てを見終わったあとは、お好きなようにお好きなシーンを解釈なさってください。終わりはありません。沼です。

ご自身にとって「ファフナー」とはどのような存在でしょうか。

存在というか、存在と無の地平線における、永遠の循環的ななにか。

最後に、作品を楽しみにしているファンの方へのメッセージをお願いします！

しっかり心の準備をしておいてください。私も、心身ともに整えて、あの世界に帰ってこようと思います。皆の帰る場所のために。

KING RECORDS